



北海道大学
教育学部

〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目
TEL: 011-706-3494
(教育学事務部教務担当)
<https://www.edu.hokudai.ac.jp>

Hokkaido University
School of
Education

人間の科学

としての

教育学を追求する

北海道大学教育学部からの メッセージ

教育学の専門的な研究・教育の場

北海道大学教育学部は大学院の教育組織である教育学院、研究組織としての教育学研究院とともに、「発達と学習の現代的課題にこたえる教育学の創造」を目的にして研究・教育を行っています。この目的に沿って学校教育だけでなく、家庭・地域・企業など社会の様々な領域での教育の問題を扱っています。学校や社会における心や体の発達・学習についての研究・教育も重要な領域としています。

教育学部4年間の履修の流れ

一年次	二年次		三年次		四年次	
一学期・二学期	一学期	二学期	一学期	二学期	一学期	二学期
						卒業論文
						専門演習 III
			専門演習 Ia	専門演習 Ib	専門演習 II	
全学教育科目	教育学基礎演習					
			調査実習・実験実習			
				専門科目		

多様なバックグラウンドを持つ教授陣と少人数教育

教育や発達は幅広い内容をもつていて、アプローチの仕方も多様です。そのため、教育方法や授業論、歴史、思想などの教育学をベースにした教員だけでなく、心理学、社会学、社会福祉学、社会政策学、体育学、医学、運動科学などを学問の基礎にしている教員もいます。多様な教員によって、幅広い内容の学問が展開され、総合的な形で研究・教育を行っているのが、本学部の特徴の一つです。

教育学部は1学年が50人～60名と小規模で、この点を生かして、少人数の演習による教育を重視しています。2年次から演習(ゼミ)が始まります。

北海道大学教育学部は、
社会の担い手として幅広い視野を
持った人を育んでいくために、
教職員一丸となって、
研究・教育を行っています。

様々な道で活躍する卒業生

教育学部の卒業生の進路や目標は多様です。教員を始めとする教育に関わる専門的な職業に就く人、公務員としてあるいは民間企業等での貢献を選ぶ人もいます。また、3割が大学院に進学し、専門職に就くことや研究者の道を選ぶ人もいます。

興味をもたれた方は、この学部案内やウェブサイト、オープンキャンパス等を通して、より詳しい情報を入手され、私たちとともに学ぶ道を検討してください。
皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

教育学部の4年間

1年次は全員、総合教育部に所属

北海道大学では
多様な入試で学生を受け入れています。
北海道大学に入学した1年生は全員、
「総合教育部」に所属して
教養科目や基礎科目を学びます。

私たちが
北大教育学部の
4年間を紹介します!

興味が定まってない人にも
オススメ。扱う分野の幅が広く、
講義を受けていくうちに気になる
分野がきっと見つかりますよ。

年次



クラスで仲間をつくる

- 「総合教育部」では学生が所属する基礎集団（クラス）がつくられます。
- 全国各地から入学した学生が新しく人間関係をつくることができる場所となっています。
- 学部別入試で教育学部に入学した学生は、5組（30名）に所属します。
- 総合入試文系で入学した学生は、総合文系の14・15組（100名）に所属し、1年次終了後に教育学部へ移行した場合、2年次から教育学部に所属することになります。
- それぞれのクラスには、クラス担任・副担任の教員がついて、みんなの相談に応じます。
- 5組のクラス担任・副担任は、教育学部の教員が担当します。
- クラス単位で参加する新歓クラスマッチや北大祭などの行事もあり、クラスメイトとの絆が深まります。

どうして 北大教育学部へ？

林 啓樹・1年生（東京都）学部後期

幼少期から北海道に憧れを抱いていた。また、教員養成だけない教育学を専攻して、日本の教育に貢献したいと思ったので。



山田 瑞奈・1年生（東京都）学部前期

北大教育学部に入ったら、自分の興味のあることにのめり込めると思ったから。また、先生方がとても気さくで話しやすいと感じたので。



4月 新歓クラスマッチ

1年生のクラス対抗大運動会!
クラスでお揃いのTシャツを作って盛り上がります。



※コロナ禍では感染拡大防止の観点から実施されなかった行事があります。学生どうしの交流や情報交換はオンラインを活用して行われました。

4月 新入生歓迎合宿

教育学部のメンバーとなった、学部別入試で入学した30人、2年次に総合入試から移行してきた20人、3年次に編入・転部入学してきた10人を歓迎する合宿です。この合宿の計画・運営は、学部3年生が構成する実行委員会がすべて担います。先輩学部生の他、教員、ときには院生も参加して行われます。先輩、先生方と、学年を超えた交流の輪が広がります!



6月 北大祭

1年生のクラスごとに模擬店を出店! その他、いろいろな学部・学科の展示、留学生によるお店も並び、キャンパスは多くの人が賑わいます。



小人数なので、学部内での結びつきが
とても強く、仲が良いです。北大祭の
模擬店出店でも、学部の結束力を
活かして1年生の中で1番の売り上げを
達成しました!

佐藤 龍門 1年生



総合教育部の授業

様々な専門分野の教員の授業を受け、幅広い教養を身につけます。

全学教育科目(一部)

教養科目	一般教育演習（フレッシュマンセミナー）	20人程度で行う演習。文献講読・発表（プレゼン）・討論など大学での学び方を実践的に学ぶ
	総合科目	学問分野を超えた問題を扱う文系・理系を問わず複数の教員が連携して行う講義
基礎科目	主題別科目	各分野を専門とする教員による講義
	外國語科目・外國語演習	世界とのコミュニケーション、研究に必要な外國語力を身につける講義・演習
	共通科目	体育学、情報学、統計学、インターンシップ
	人文・社会科学の基礎	文系の新入生向けの講義
	心理学実験	人間の心理を客観的にとらえる方法を学ぶ

1年次の全学教育でも教育学入門
といった教育系を扱う授業がたくさん
あります。2年次になったら毎日教育
について考えられるのかとワクワク
しながら授業を受けるのはとても
楽しいです!

山田 瑞奈 1年生



佐藤 龍門・1年生（宮城県）学部後期

旅行しがいがあって部屋に虫の出ない
北海道に住みたかった。教育学部は
色々な経験をしてきた人がいて、視野が
広がるイメージがありました。



佐竹 那希・1年生（札幌市）学部前期

児童虐待や少年犯罪など、子供たちが
抱える問題に興味があり、様々な教育系
分野を学べる北大教育学部を選び
ました。



永井 温・1年生（札幌市）学部前期

両親が学校関係者だったことや昨今
の教育現場に関するニュースから、
特に教育行政について強い興味を
持っていたので。



新しいメンバーを加える

2年次進級時、
総合入試の学生から
20名が教育学部へ
移行してきます。



学部入試の学生も
総合入試の学生も
仲がいいです！

年次

いよいよ専門科目の
講義や演習、実習が始まります！

2・3年次の授業

必修科目	教育学基礎演習
	教育学概説 教育の自由・権利と法
	教育の歴史
	教育の思想
	教育の内容と方法
	人間の発達と学習1、2
	教育と社会1、2
	健康体育と衛生1、2
選択必修科目	専門演習→各ゼミの紹介はp.17-24に
	教育基礎論(講義・調査実習)
	教育社会科学(講義・調査実習)
	教育心理学(講義・実験実習)
	健康体育学(講義・実験実習)
選択科目	教育学特別講義
	教育学国際講義

2年次後期に専門演習(ゼミ)を複数受講します！

2年次後期より専門演習(ゼミ)を受講。本格的にゼミに所属する前に専門演習を複数受講し、さまざまなゼミの研究に触れることができます。複数のゼミを受講しやすいように、1つのテーマを1コマ(90分)で行います。

健康体育学系の
ゼミも充実！



佐藤 凜・2年生

幅広い分野から自分の興味のある授業を選ぶことができます！！！

佐藤 凜 2年生

どうして北大教育学部へ？

谷 郁果・2年生(札幌市)学部前期



北海道外からいろいろな人が集まる場所で、「教育ってなんだろう?」という漠然としたもやもやを考えてみたいと思ったから。

小栗 向陽・2年生(東京都)学部後期



教育学に興味があり、教員養成ではなく研究に重きを置くカリキュラムに惹かれたから。北の大地への憧れもありました！

佐藤 凜・2年生(秋田県)学部前期



自然と町が調和する北海道、札幌での生活に憧れがありました。子どもと関わることが好きで、数ある学部の中で教育学部を選びました。



移行歓迎イベント



2年生後期から
専門演習(ゼミ)を
受講します！



北大教育学部では、必ずしも教員免許を取り必要はありません。「教育」や「人」について様々な角度から深めることができます、またとない環境です！

岸田 洋太郎 2年生



2年次後期の時間割例

	月	火	水	木	金
1			近現代学校史		青年期教育論
2	教育思想史		外国地誌(文学部)	教育社会学	生涯学習論
3		臨床心理学	青年期教育(専門演習)	教育福祉論	学校社会学
4		教育臨床心理学(専門演習)	体育社会学(専門演習)	教育福祉(専門演習)	
5					
6					

後藤 萌衣・2年生(帯広市)総合文系



小中学生のころに感じた「学校生活に対する難しさ」から興味を持った教育という分野を、様々な観点から学びたかったから。

宮城 和・2年生(鳥取県)総合理系



自分の興味の持った分野が教育学部にあったから。入学後でも進みたい方向を変えられることは北大の大きな魅力であると思います。

岸田 洋太郎・2年生(兵庫県)学部後期



人ってどのように育っていくのだろう？という疑問を持ったとき、一番しつこり来るのが教育学部でした。あと北海道が大好きなので！

教育学部の4年間

転部・編入の10人が 教育学部に合流！

ゼミへの本格的な所属が始まる！



皆川 理梨 3年生

アットホームな雰囲気が魅力です。先生方との距離も近く、手厚くサポートしてくださります。

年次

ゼミって？

ゼミとは「少人数で行う専門性の高い授業」のことです。学生は自身の興味・関心に応じて好きなゼミに所属します（30以上のゼミの中から、希望のゼミに入ります）。同じゼミの学生とは学年に関係なく、とても仲良くなれます！

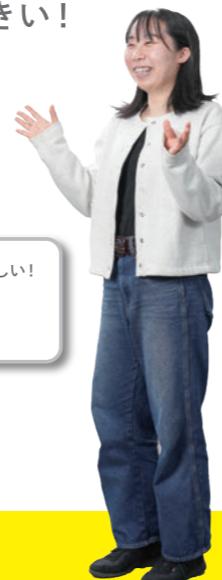
ゼミの特徴は、各分野のプロフェッショナルである先生方と、同じ机で、同じ高さの目線で行われるということです。先生方と一緒に文献を読んだり実験をしたりすることを通して、それぞれの分野の基礎理論や研究方法を学びます。



保健体育の
教員免許が取れます！



ゼミでの経験は
大きい！



友人、先生、先輩、後輩がみんな優しい！
雰囲気の良い学部だなと思います。

片野 多恵 3年生



3年次後期の時間割例

	月	火	水	木	金
1	言語発達論				発達心理学(実験実習)
2	乳幼児発達論(専門演習)	言語発達論(専門演習)			発達心理学(実験実習)
3	産業教育論	身体運動システム論			体育社会学
4		教育臨床心理学(専門演習)	発達心理学(専門演習)		
5					
6					



留学にも挑戦！

北大教育学部には独自の留学支援プログラム(ESD)があります。主に2、3年生が参加します。(写真はESD参加時のひとコマ) →詳しくは、p.15-16に

「学校とはどうあるべきか」を考えられます。基礎論系のゼミで、より良い学校について、様々な教育を経験してきた友人と議論できるのが魅力です。

深海 貴之 3年生



留学のためのプログラムがあり、授業と平行して海外に行くことができます！



どうして北大教育学部へ？

池田 伊織・3年生(札幌市)学部前期



幅広い分野から学べるところに、当時の私は惹かれました。特に、運動やスポーツについても学べる点がとても魅力的でした。

片野 多恵・3年生(新潟県)学部後期



教育学を学びたいという思いと、北大に通う先輩からとても良い学校だと聞いたことから北大教育学部を選びました。

渡邊 あかね・3年生(札幌市)学部前期



実家から通える距離にあり、教育学を専門的に学べる学部だったから。さらに自然豊かなキャンパスも魅力的でした。

深海 貴之・3年生(東京都)学部後期



教育格差や子どもの貧困などの社会問題について研究できるところ(社会学系)日本の教育課題を考えたくて、北大教育学部を選びました。

新井 系和・3年生(青森県)編入学



教育学を学ぶ中で、教育制度について深く研究したいという思いが強くなり、教員養成系の大学から編入学しました。

皆川 理梨・3年生(函館市)学部前期



教育福祉や社会教育に关心があり、教育について多方面から学べる北大教育学部へ。人数が少なく仲の良い雰囲気にも惹かれました。

教育学部の4年間

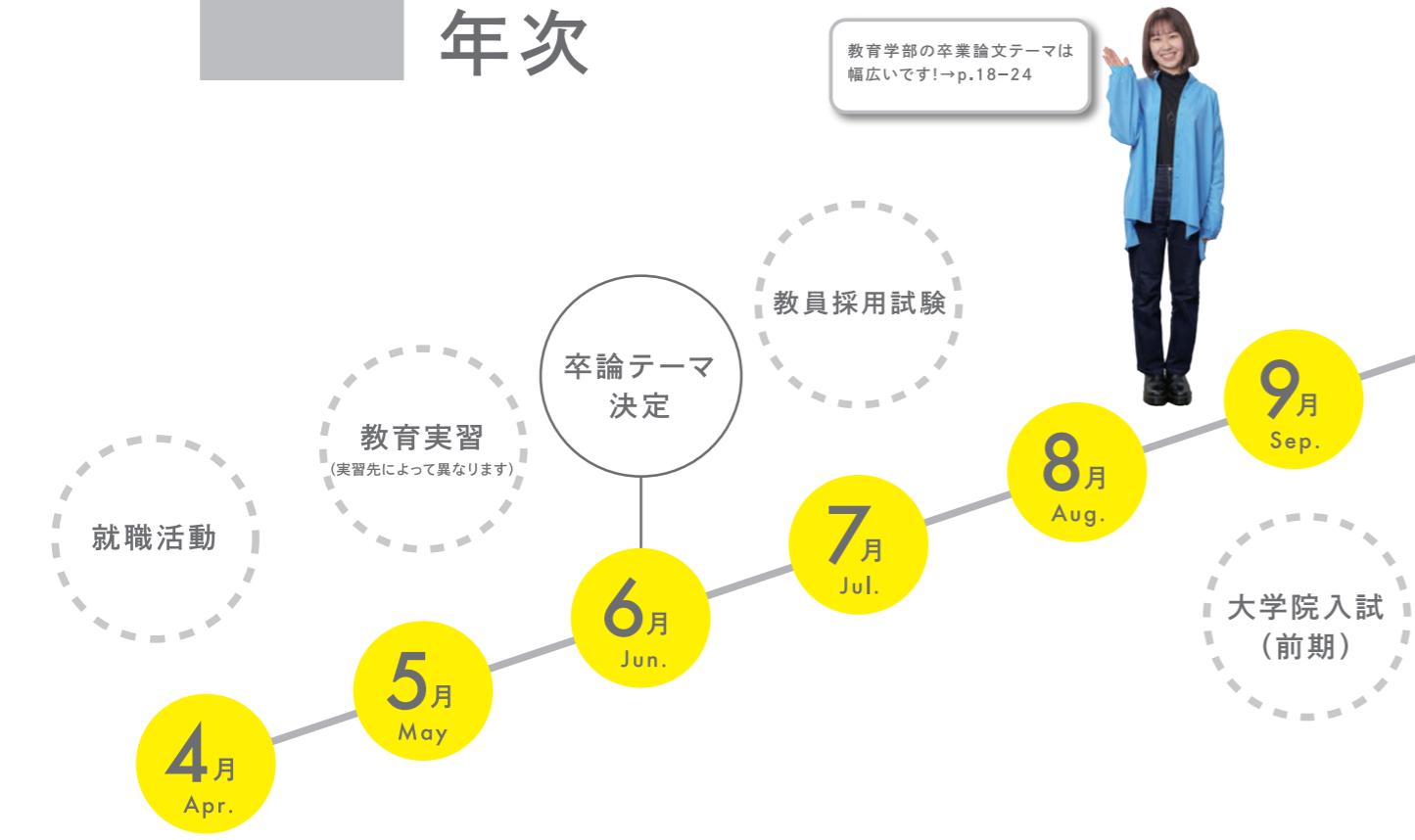
集大成の1年間

卒業論文に取り組みます！

卒業論文

教育学部では卒業論文が重視されます。問題意識の設定、先行研究の検討、研究課題の明確化、資料やデータの収集、論文の執筆、完成した論文の発表まで、学生が指導教員の示唆を得ながら、自らの力でやり遂げることを基本にしています。論文の発表は、学部の構成員全てに公開される形で行われます。論文発表までの道のりは平坦ではありませんが、その過程で大きな力を身につけていきます。

年次



どうして北大教育学部へ？

鈴木 優太・4年生(東京都)総合文系

大学受験時は特にやりたいことがなかったため、総合文系で入学したが、様々な授業を受けていく内に、スポーツを科学的に分析する授業に惹かれてその研究が教育学部でできたから。



清水 聖哉・4年生(愛知県)総合文系

心理学の中でも特に発達心理学、犯罪心理学に興味があり、実践的な学びができ、専門としている加藤先生がいるので入りました。



田井 千里・4年生(京都府)学部前期

引っ越しの経験から、教育の質には地域差があるのではないかと疑問を持っていました。広く教育学を研究したいと考え、北大に決めました。



卒業論文は自らの問い合わせるところから結論を出すまで「自分」と向き合うことが求められました。言葉を紡ぐ中で細かな表現に悩んだり、スケジュール管理で困ったりした時には先生に何度も相談し、書き上げることができました。

田井 千里 4年生

今の社会で
一番大切なのは
教育じゃないかな



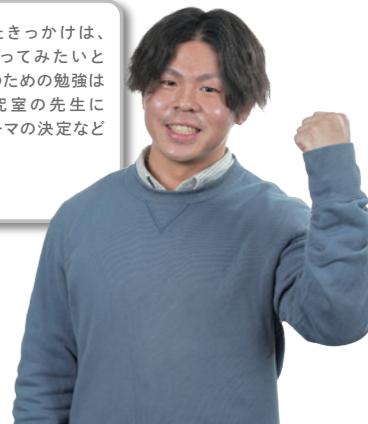
専攻は心理学ですが、4年間で得た社会学の知識も就職活動で役に立ちました！4つの分野を幅広く学ぶことで、社会に出る上で必要な教養が身に着いたと感じます！

田中 愛実 4年生

卒業式

3月
Mar.

大学院入試
(後期)



大学院に進学しようと思ったきっかけは、卒論から発展した研究を行ってみたいと思ったからです。大学院入試のための勉強は4月頃から始めました。研究室の先生に相談し、大学院で行う研究テーマの決定などを行いました。

鈴木 優太 4年生



教育実習は卒業後の進路を決める大事な機会になりました。教師の役割、その仕事の意義、たとえ教師になる人にもならない人も人生の大きな糧になったと思います。

菅原 潤 4年生



岡島 慶太・4年生(東京都)編入学

北海道という土地に魅了されて！面白且

版は、教育について考えたかったけど、教員になるための勉強はしたくなかったと言います。





文献に潜む言葉から 教育の思考の歴史を考える

教育思想 白水 浩信



研究に使用する古書



言葉を探探し分析する

現代の「教育(education)」への疑問から研究が始まり、いまだに考え続けています。「教育」は、大人が子どもの「能力を引き出す」一方的なものではなく、双方が変容する営みではないでしょうか。

大学入学時は物理学科への進学を考えていたが、もともと人間や哲学に関心が強かったこともあり、文転して教育学部に進学しました。大学卒業後は就職先も決まっていましたが、入社前研修に参加したときに、大学を卒業した後も続く現代の学校化した社会の在り方に疑問を感じ、大学院へ進学しました。

研究手法は、長い年月をかけて堆積した言葉の地層を掘り下げる。例えば日本語で「教育」と訳されているeducation。古い文献を紐解いていくと、educationは子どもに食べ物を与えたり授乳したりして大きく養い育てるという意味をもつ言葉です。

これは、紀元前の古代ローマまで遡ってラテン語で書かれた文献を読むことで分かってきました。それが19世紀前後、現在の学校の形が作られる中で、「(能力を)引き出すこと」という意味でeducationを騙すようになります。膨大な文献からeducationという言葉を探探し、文脈から言葉のもつ意味を読み取り明らかにしていくと、そんな「教育(education)」の変化が見えてきます。

この研究分野は、文献を細部まで読み解き、時系列にそって言葉の由来を明らかにし、語の系譜学として打ち立てていく世界です。漫然と読み進めていたら気づかなかつたことが、時間軸のなかで深く読むことによって見えてきます。

研究室の学生たちは、自分が突き詰めたい言葉を頼りに、文献を読み進めていきます。最初は、文献の探し方、読み方と一緒に進めながら、思想史的に読む力をつけていくのです。これまでの卒業生が探索してきた言葉は、「exercise(訓練)」「faculty(能力)」「life(生命)」など。文献は原文をドイツ語やフランス語、場合によってはラテン語といった元々の言語で、読み解いていきます。翻訳された日本語は、それ自体が言葉の解釈の表明ですから。

言葉を思想史的に深く読む力がつくと、現代の言説の歴史的位置も見え、その異様さも含めて、物事を俯瞰して見られるようになります。世界は言葉というフィルターを通して認識され、他者と共に生きることが可能になります。言葉に敏感になることで、世界を見る解像度が上がり、常識によって曇らされていた眼を開いてくれると思います。



実験・調査で動機づけを探求し 教育現場に還元する

認知・動機づけ論 大谷 和大



ゼミの様子



卒論発表会にて

英語の教師になろうと思い、大学では言語学を学んでいました。ボランティアで教育現場を体験する中で、授業のために生徒を座らせるだけで大変なことを実感。教える教科だけではなく、子どもの心理や意欲について、専門的に学んでから教師になろうと思いました。そこで大学院では、教育心理学の研究室に進学したのです。

自分自身の研究では、もともと関心があった小学生や中学生を対象にしています。しかし、研究室の学生の研究テーマは家族や大学生などを対象に、多岐に渡ります。

教育心理学の主な研究手法は、実験と調査です。実験は、研究対象者を実験群と対照群に分けて、それぞれ何らかの異なる処遇を行い、その結果の差異を見ます。例えば、卒論では、異なる場面設定が書かれた質問紙をそれぞれの群に配布することができます。場面設定を読み、後にとる行動や気持ちを答えてもらい、その行動や気持ちの違いを解析します。調査は、大学生や中学生などにアンケートを配布し、その回答傾向や色々な要因同士の関連を分析します。北大教育学部では、「教育心理学実験実習」という授業で研究手法や分析方法を学びます。

最近、心理学研究では、実験結果の再現性が低い

ことが問題になっています。研究者は、通常仮説に合わせて実験準備段階で条件を設定します。一方、この問題は、良い結果が出た時点で、データの収集を止めてしまうなど、自身の仮説に都合のよい結果になるように解析の段階で色々と条件を変える場合などに起こります。既存の研究結果を鵜呑みにするのではなく、どのような手法で導き出されているのかを見ることが重要です。

研究室の学生たちは、心理学を勉強する中で、データに基づきながら論理的に思考する力をつけていきます。この力は社会に出て働く上でも今後ますます重要になっていくはずです。例えば、公務員として行政施策を考えるときや、企業でマーケティングを行うときなどにも大事な力です。社会科学のリテラシーを持った人材として、卒業生を送り出していきたいと思います。

近年、教育心理学では、実験や調査で出た結果だけでなく、実際の現場（学校）で何らかの介入を行って、参加者（生徒）の実際の変化を見るような現場に活かす研究が増えてきました。私も研究成果が、小学生や中学生が楽しく学校に通って、勉強することに還元していきたいです。



社会の持続可能な発展にとっての教育のもつ役割を考える

ESD(Education for Sustainable Development) Campus Asia-Pacificプログラム

北海道大学教育学部は、2011年よりESDキャンパスアジアプログラムとして、アジアの4大学（高麗大学校、ソウル国立大学校、北京師範大学、チュラロンコン大学）と双方向型の留学支援事業を行ってきました。2016年度からは、サハリン国立大学も参加校に加わり、「ESDキャンパスアジア・パシフィック」としてさらにESDの世界が広がりました。加えて、2021年度からはこのプログラムの履修者および新規受講者を対象とした大学院におけるESD Leaders Global Education プログラムが開講されています。



Buddy Program (双向型)



2022年度ESD北大プログラム(学部生・夏季集中)参加者の声



榎本 由里子
(3年生)

プログラムの魅力は「経験のシェア」にあります。講義やグループワーク、フィールドワークなどを通し、SDGsや持続可能な社会について、多様なバックグラウンドを持つ教員や学生との対話を通して、経験をシェアし、多面的なSDGsを「自分事」「自分たち事」として考えを深めることができました。



小川 直輝
(3年生)

余市エコビレッジへの一日訪問が1番印象に残っています。エコビレッジではサステイナブルなコミュニティを確立しており、地球環境に優しいとは何かを実感することができました。オンライン・オンラインでの交流を通して絆を深めた参加者とは、今でもSNSで繋がっていて、時々進捗報告をしています。



福島 菜央
(3年生)

様々な国の学生の考え方を知って、英語を通じた交流がしたいと思い参加しました。北大キャンパスに来られた学生は少数でしたが、オンラインでのグループ発表会ではアジア各国から学生が参加し、各のSDGsにつながる取り組みを聞くことができました。訪れてみたい国も増え、興味関心も広がりました。



佐賀 太一
(3年生)

普段英語を使うことがないため、英語を話したくて参加しました。余市に行って、授業のメンバーと交流しつつ普段できない収穫作業や外での調理をしたのが楽しかったです。はじめは留学生の話すベースについていけず、自分の英語力がどの程度かわかりました。途中から少しは自分で話題を出して会話できるようになってうれしかったです。

さらに本格的な長期留学へ

北海道大学は、海外51の国・地域の196協定、200機関の大学等（令和4年12月現在）と大学間交流協定を結んでいます。これとは別に、教育学院・教育学部は12の大学と部局間交流協定を結んでいます。

大学間あるいは部局間で、学生交流協定を結んでいる大学（協定校）には、1学期間あるいは1年未満の「交換

留学」をすることができます。また、留学中に協定校で取得した単位は、所属部局が認める範囲内で単位として認められます。これによって留年せずに留学ができるようになっています。また、北海道大学に授業料を納めていれば、留学先の大学では授業料の徴収がありません。手厚い留学支援で、海外留学を後押しします！

長期留学体験者の声

充実した留学プログラムで一生ものの経験を

内田 向日葵

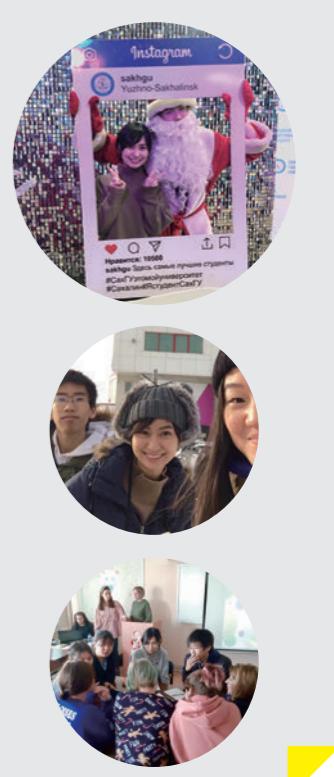
ESDプログラム:ソウル国立大学校(2018年度)
長期交換留学プログラム:サハリン国立総合大学(2019年12月~2020年3月)

長期留学を決めたのは3年生の4月。尊敬する先輩に薦められたことと、留学先で取得する単位も大学の卒業単位に含まれることが、長期留学を決めた大きな理由です。また北大教育学部の留学プログラムでは、留学に際して奨学金ができることも参加を後押ししました。

留学先のサハリン州の州都ユジノサハリンスク市は、近年目覚ましい発展を遂げている街です。街には大きなショッピングモールもあり、生活に困ることはありませんでした。また、移民が多く住んでいる街なので、料理店などからも多様な文化を感じます。大学の先生方や学生はとても優しく、困ったことがあるといつも私達を助けてくれました。

授業では英語でのプレゼンテーションを沢山行いました。日本の就学前教育の問題点について1人で1時間発表したときは心が挫けそうになりましたが、ゼミでの勉強や、北大独自のプログラムである新渡戸カレッジでの経験が活かされ、何とかやり遂げることが出来ました。この「やりきった」という経験は、自分にとって大きな自信となったと思います。また、大学外の教育施設を見学する機会が多くあり、ロシアの教育を肌で実感できました。中でもロシアの子ども達に日本の折り紙を教える先生になったことはいい思い出です。今後も留学での経験を活かして、外国語の勉強を続けたいと考えています。そして、いつかまたロシアを訪れたいです。

海外留学の中では大変なことも沢山ありますが、その分得られる経験や知識は一生ものです。興味がある方はぜひ挑戦してみてください！北大教育学部には、皆さんの挑戦を後押しする体制が整っています。



ESDキャンパスアジア・パシフィックプログラム(余市エコビレッジにて、2022年8月撮影)



Introduction to Courses:

各ゼミ紹介

Fundamental Theories of Education

Social Sciences of Education

Educational Psychology

Sciences of Health and Physical Education

教育基礎論分野

“学び”の革新。“教え”と“育ち”的相互関連。人々の成長を支えるしくみを探求する。

教育思想 担当教員：白水 浩信

教育について語ることは、いかにして可能か？

西洋の教育思想史をひとととき、一口に「教育」と言っても、education、instruction、discipline、formation等、様々な語彙があります。古代から近代にいたる教育言説の軌跡を語彙基盤の変遷という観点から、いつ、誰が、どのような文脈で語ったのかということについて研究しています。



●卒業論文テーマ：
「〈祭典〉装置としての〈公教育〉—カバニス『公教育論』第二章の分析を中心とした西欧教育思想における(修練)の系譜学—カッシアヌスからイエズス会まで」「メトレー感化院の「家族制度」—フレデリック・オーギュスト・ドゥメツの家族觀」

教育史 担当教員：北村 嘉恵

教育の「常識」のラディカルな問い直し

たとえば「現代教育の病理」とされる現象について、处方箋を急ぐよりは、教育の生理現象のひとつとして、時間的・空間的に視野を広げて捉え直してみたい。異なる時代・地域の側に視点をおくことができれば、自分の日常や問題状況もこれまでと違って見えてくるはずです。悠長な遠回りのようですが、ラディカルな問い直しにつながります。



●卒業論文テーマ：
「幕末維新期の服装改革と『男らしさ』の再編成」「近代日本における読書行為—新聞小説と読者」「なぜ『君が代』を学校で歌うことは『当たり前』なのか」

学校史 担当教員：近藤 健一郎

教育・学校について歴史的視点から考える

6歳になったら小学校に入学するということから始まる、疑われるすことのない教育・学校の「常識」に私たちは囲まれていて、そこから自由になるのは容易ではありません。だからこそ、教育の現状を理解し、「問題」の根源に立ち返り未来を展望することをめざします。



●卒業論文テーマ：
「戦時下の北海道における『教育』の実態—農村を中心に」「『いじめ』の歴史的形成過程」
今も読み残る『春安殿』(沖縄県石垣小学校)。中には何が入っていたでしょうか。

教育行政学 担当教員：横井 敏郎

子ども・若者の学びと成長を支える
教育行政・制度を探る

子ども・若者の学びと成長を保障するには十分な教育環境が必要です。本研究室では教育機会を保障する公教育制度のあり方、教員確保や学校配置などの教育条件と地域格差、分権改革下における地方教育行政の構造変化・平等・公正・差異などの規範的価値などについて現場調査、法制度・政策分析、概念分析、国際比較の方法で研究しています。



●卒業論文テーマ：
「北海道におけるスクールカウンセラーの勤務実態と常勤化に関する考察」「公教育への民間教育産業参入の現状と課題」「外国にルーツをもつ子どもの就学保障と行政の役割」

学校経営論 担当教員：篠原 岳司

教育を受ける権利を保障する学校とは？
その法と制度、組織、統治、経営を問い合わせ直す

現代社会において、学校教育は私たち個人の成長発達に強い影響力を有しています。しかし、学校教育には様々な課題も指摘されています。学校が個人の自由権を侵害せず、すべての学習者の願いに応え、それぞれの教育を受ける権利を保障するためには、学校教育に関わる法と制度、人と組織、そして統治と経営の現実を問い合わせ直し、より良い学校のあり方・創り方を追究することが必要です。



●卒業論文テーマ：
「公立校における国際バカロレア教育の導入課題—教員の確保に着目して—」「住民の学校参加に関わる教育法学説の批判的検討—今橋盛勝の「住民の教育権」理論を中心に—」「教育課程編成における生徒の実情に応じた弾力性—夜間中学における学齢超過者への『特別の教育課程』を対象に—」

教育方法学

教授学を探究しよう！学ぶ楽しさを明らかにしよう！

私自身は自然科学教育を中心に研究しています。ゼミでは、いろいろな教科の教育を研究対象にして、教授過程の基本構造を明らかにするため、教育内容、教材、授業プランの研究開発、実験授業の分析方法の検討などをテーマに卒業研究を行います。

担当教員：大野 栄三

言語教育(外国語教育としての英語教育、国語教育)を中心に研究しています。現代の学問の諸分野からさまざまな教科の教育内容を抽出する方法の点から、「学問の学問」としての教授学の理論構築を行おうとしています。

担当教員：大竹 政美



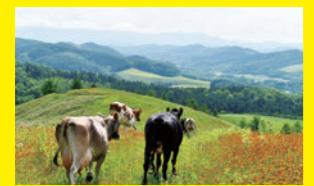
●卒業論文テーマ：
「光の直進性に着目した中学校段階における光の学習」「翻案小説としての太宰治『走れメロス』の読みの指導」「中学校社会科公民の分野における社会的選択の指導に関する教材構成」



生徒指導論 担当教員：浅川 和幸

地域社会の現実から
進路指導・生徒指導・道徳教育の
課題を考える

モノを考えることは旅することに似ています。最短距離を進む「移動」とは違った、考える旅の楽しさや豊かさと一緒に味わってみませんか。生徒指導論ゼミでは、北海道の厳しさを増す地域社会と学校の関係の中から、上記の課題に迫ります。



●卒業論文テーマ：

「児童文学が描いた「病」に関する一考察—上橋菜穂子『鹿の王』を題材に—」「主権者教育を民主主義論から捉え直す—宇野重規の論考を題材に—」「地方政治において当事者になるとはどういうことか?—高校生議会に注目して—」

教師教育制度論 担当教員：張 揚

教員の生涯発達とそれを支える教師教育を
グローバルな視点から見る

教師教育が教師発達をもたらし、教師発達は教師教育のなかで実現します。教師教育制度論は教員養成と現職教育に関する制度や政策のみ探究するのではなく、教師個人の変化にも注目します。とりわけ、教師の質の向上に焦点を当てて、教師が教職生涯にわたって継続的に力量成長を遂げるという視点から教師教育の在り方を問います。



●卒業論文テーマ：

教員養成と教員研修をはじめ、教職活動全般、教員の生涯発達や学習プロセスなどの解明に关心があり、現場調査、国際比較などの方法で研究してみたい方を歓迎します。

社会教育学

2023年度中に
着任予定

教育福祉論

貧困・不平等に関する研究を通して
教育と福祉のあり方を考える

子どもの貧困について研究しています。編著書に「子どもの貧困」「子ども虐待と貧困」「子ども虐待と家族」、翻訳書に「貧困とはなにか」(いずれも明石書店)など。大阪府出身。冬山にあこがれ北大に入学。友人を得て単位を失う学生生活でした。



担当教員：松本 伊智朗

家族の中のお金=家計の問題(教育費負担や各種支払いの滞納問題など)について実証的に明らかにし、こうした家計の問題と貧困との関係について考える研究を行っています。



担当教員：鳥山 まどか

青年期教育論 担当教員：辻 智子

多様な実践から青年期と教育を問う

青年・若者に向けられる世の中の関心は社会のありようを映し出します。それらの関心とそれをめぐる動向を対象化しつつ、また具体的な地域実践なども手がかりしながら、「人が育つこと」「大人になること」の様相をとらえ青年期の教育について考えます。教育・労働・福祉の相互の重なりやジェンダー／セクシュアリティの視点も大事にしています。



●卒業論文テーマ：

「集団的同調圧力からの解放への展望—現代の部活動を例に—」「男性とフェミニズム」「子どもはどのようにジェンダー・ステレオタイプを身につけるのか～幼児期の家庭環境と、親子間の連関に注目して～」

高等継続教育 担当教員：光本 滋

自身にとっての意味と必要、他者にとっての
価値をつなぐ大学・学問の創造

大学で学ぶことは、大学と学問をつくる主体になります。国内外、過去から現在までの
人びとの工夫と努力、そして失敗を含む経験に学びながら学問・教育の自由と自治の課題についてともに考えていきましょう。



●卒業論文テーマ：

「学生生活費と奨学金」「平和教育論の考察」「W.S.クラークの教育理念・実践—マサチューセッツ農科大学から札幌基督教会誕生までの教育活動について」

教育社会科学分野

個人の成長、地域の発展。
社会システムとしての“教育”を捉える。

教育社会学 担当教員：上山 浩次郎

教育と社会の関連を解説する

教育と社会の関連を、特に教育と社会的不平等に注目して社会学的な立場から考えていくことが目標です。その際に、社会調査実践に基づきながらも理論的な研究となるよう努めることも目指しています。一緒に学びましょう。



●卒業論文テーマ：

「大学生の学業に対する出身階層の役割」「教育社会学におけるボンド理論の現状と課題」「教育社会学における性内分化研究の現状と課題」

職業能力形成論 担当教員：駒川 智子

職場のジェンダー平等を求めて
企業の人材育成に切り込む

社会の「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業のもとで、日本企業では男性と女性のキャリア形成が大きく異なります。企業の労働内容、能力形成、評価、仕事と家庭の両立支援等について考察し、公正でやりがいのある職場づくりを探究しています。



●卒業論文テーマ：

「留学生の就学と進路選択に関する意識調査—北海道大学現代日本学プログラムに着目して」「日本で働く外国人の就労—非正規雇用のALTへの着目」「吃音者の就労における合理的配慮とはなにか—当事者の葛藤と周囲の配慮に焦点を当てて」

私の専門は、社会教育学ですがNPOや協同組合などを対象に、地域で福祉活動を担う人々の協同活動を通しての学びをテーマとしています。現代社会の縮図である地域で、一緒にフィールドワークしましょう！

教育社会科学分野 助手：丸山 美貴子



教育心理学分野

乳幼児から青年、成人に至るまで。
心の領域から“育つ”ことを探求する。

特殊教育・臨床心理学 担当教員：安達潤

認知心理学・臨床心理学の視点から
知的障害・発達障害の人たちの理解と
支援を考える

一般の子ども達と物の捉え方（認知）が違うために、
場の空気が読みなきたり、他者との関わりや計画的な作業が苦手だったりする子ども達がいます。その困難さは彼らの心理的育ちに暗い影を落とすこともあります。彼らが眺める世界を理解し、彼らの体験に配慮した支援と一緒に考えてみませんか。

●卒業論文テーマ：

「算数文章題において困難を示す児童への学習支援の実践と検討」
「自閉症スペクトラム障害者に対する集団での自己認知支援の実践と検討」
「知的障害を伴うASD児への要求行動形成のための支援」

発達臨床論 担当教員：岡田智

子どもの成長や適応を支える
発達臨床実践へ！

学校生活や対人関係上の不適応や、発達面でのアンバランスを抱えている幼児、児童、青年の理解と支援の方法について関心があります。発達臨床論ゼミでは、このような状況にある子どもや青年に関する心理や支援方法について学び、学生個人の興味・关心に沿って、調査研究、事例研究、実践研究などに取り組んでいます。



●卒業論文テーマ：

「発達障害のある児童における集団遊びの発達的意義に関する検討」
「社会性の困難を抱える大学生の被援助体験が被援助志向性に与える影響」
「通常学級の教員の合理的配慮による負担感に関する考察」

視知覚認知過程論 担当教員：河西哲子

「一瞬」の心の働きを科学する

世界の事物や事象はどのように脳で処理され、瞬時に認識されるのでしょうか。またその過程は心身の状態や発達、学習によってどう変わるのでしょうか。実験心理学や心理生理学の方法論を学びながら、心の不思議を考えてみませんか。



●卒業論文テーマ：
「グローバル・ローカル水準間の注意シフトの検討」「肯定的・否定的感情状態が認知に及ぼす選択的影響」「事象関連電位を用いた視覚的群化の検討」

学習神経心理学 担当教員：関あゆみ

脳機能の視点から
子どもの「学び」を考える

「読む」「書く」「計算する」などが、どうしてもうまくいかない子ども達がいます。急いでいるのでも能力がないのではなく、学び方=脳の使い方が他の人と少し違うのです。学習のつまりを脳機能の視点からとらえることで、支援法について考えてみましょう。



●卒業論文テーマ：

「教示が試写における書字速度と判読性(legibility)に与える個人差の検討」「新しい正字法の学習における指導方法と音韻意識の影響」「事象関連電位を用いた視覚的ワーキングメモリにおける過去と現在の情報統合処理についての検討」



障害者臨床心理学 担当教員：松田康子

当事者に学び障害を抱えて
生き抜くことへの助力を考える

ケアの場における利他とはどのような営みでしょうか。精神障害を抱える人にとって、地域で暮らすこと、学業に励しむこと、生き抜くことへの助力とはどのようなことでしょうか。答えは一つではありません。個人の関わりから環境にまで視野を広げ、一緒に考えていきましょう。



●卒業論文テーマ：

「内なる他者の声を聞くこと：応答責任としての自己再帰的考察」「経験を共有するとはいがなることか」「もやもやした気持ち」の扱いにくさ～心理職を目指していた学生との語り合いから～」

発達心理学 担当教員：加藤弘通

問題のなかに発達の可能性をみる

私たちの研究室では、非行やいじめ、不登校、ひきこもり、自傷行為といった「問題」から思春期の発達について考えています。問題=悪ものと考え、単にその解消を目指すのではなく、様々な「問題を可能にしている思春期の発達とは何か?」ということを解明することが目標です。



●卒業論文テーマ：

「友人関係における自己開示抑制について」「青年期における競技スポーツ世界への参入が発達に与える影響」「将来の夢」を持っていないことをポジティブに捉える「思春期における自我体験の特徴と人格形成の因果関係についての考察」「青年期におけるナマの大人が与える影響」「青年期における重要な他者との信頼関係構築による関係性の再体制化」「プランニング方略が動機付けに及ぼす影響」



乳幼児発達論 担当教員：川田学

子どもの発達と
保育・教育実践との関係をさぐる

人生のはじまりである乳幼児期の発達を、家庭や保育園・幼稚園といった実践の現場と切り離さないで研究するには何が必要でしょうか。子どもの発達を解明したい人、保育や幼児教育の実践を思索したい人、親や保育者や子育て支援者の話がききたい人、一緒に学びましょう。



●卒業論文テーマ：

「乳幼児におけるひとり言の社会的機能：保育場面の自然観察を通して」「乳幼児期の移行対象と親子関係」「保育者一保護者間におけるICTを活用したコミュニケーションの現状と保育の質向上の糸口」

教育臨床心理学 担当教員：渡邊誠

隠れた必要性に目を向けて

心理的な問題を抱える、主に青年期以降の人たちに対して、臨床心理学的な援助の実践と研究をしています。特に、高等教育機関における学生相談、セクシャルマイノリティ支援、および犯罪被害や虐待などによるトラウマの支援に興味があります。



●卒業論文テーマ：

「過去の自分とのロールレタリングがもたらす心理的效果の検証」「『里子であること』はどうに経験されるのかー里親家庭で過ごしたaさんの語りを中心にー」「オンラインコミュニティにおけるコミュニティ感覚がメンタルヘルスに与える影響」



言語発達論 担当教員：伊藤崇

子どもの生活を言語という観点からとらえなおす

家庭や幼稚園、小学校などで、子どもが周囲の人々と行うコミュニケーションを研究しています。例えば、親子の何気ない会話の中には、子どもが言葉の使い方を身につける上で重要な秘密が眠っています。その秘密を解き明かすのがこのゼミの最終的な目標です。



●卒業論文テーマ：

「母子関係と相互の呼称の関連についての一考察」「中学生における成績非開示傾向を及ぼす要因の検討：自己評価・他者評価予測・評価懸念に注目して」「呈示情報への色による強調が情報源に関する記憶に及ぼす影響」

学習・授業論 担当教員：守屋淳

子どもの学びのあり方を問う、
それを支える教師のあり方を問う

皆さん自身が今までに経験してきた授業のイメージをいったん白紙に戻してください。実際に行われている優れた授業から学び、子どもたちが一人残らず生き生きと学ぶ授業とはどのような授業なのか、そのため教師はどうあるべきなのか、ということを中心に考えていきましょう。



●卒業論文テーマ：
「現代の家庭教師の価値と可能性の再考」「持続可能な授業研究のための一考察」「英語の授業におけるオーセンティックなテキストを活用する意義と方法の研究」



福祉臨床心理学 担当教員：井出智博

生きづらさを抱える子どもや若者の
暮らしと育ちを支える

児童虐待や喪失体験、機能不全を抱える家族との生活、被災や被害体験など生い立ちの中で困難さを経験してきた子どもや若者に対する心理的、福祉的支援に関する実践、研究に取り組んでいます。またそうした困難さの否定的影響だけではなく、困難を乗り越えることの心理的成長についても注目して取り組んでいます。



●卒業論文テーマ：
「自立援助ホームにおける主体的な自立をめぐる現状と課題の探求」「学校不適応経験のある生徒の道内地方小規模高校における『学校適応』の要因の検討」「カミングアウトの『受容』アプローチ」



認知・動機づけ論 担当教員：大谷和大

社会的に構築される学習動機づけの探求

動機づけは「やる気」の学術用語で、人の行動を理解する上での重要なキーワードです。本研究室では、教育心理学、認知心理学、パーソナリティ心理学の手法に基づき、動機づけの個人差やそれを規定する要因、そして動機づけが何を予測するのかを児童・生徒の社会的文脈（学級風土など）に注目しながら探索しています。また、メタ認知など学習をより高次なものにする思考についても研究しています。



●卒業論文テーマ：
「洞察問題における協同的問題解決の検討」「隣の芝生は青く見える感情の探索的検討」「自動的記憶の想起がアナグラム課題の取り組みに及ぼす影響」



健康体育学分野

身体の可能性。健康の意味。
人間の可能性を身体から探る。

身体文化論 担当教員：池田 恵子

スポーツ文化をバックグラウンドから炙り出す



ヨーロッパを中心に13か国以上の国を訪れて、
スポーツ文化のルーツについて考えてきました。
2度にわたるイギリスでの長期滞在が教育研究上の
自らの関心を刺激し続けています。



●卒業論文テーマ：

「H・オルケン『英国のスポーツ』(1821)にみる狩猟の意義に関する研究」
「アマースト大学方式の導入と近代体育—札幌農学校から北海道帝国
大学予科を中心に—」「ナディア・コマネチの半生に、社会主义国家の
スポーツ制度が与えた影響に関する研究」

体育方法 担当教員：崎田 嘉寛

「早く走りたい!」という
子どもの素朴な希望に寄り添いたい



スポーツや運動は大好きだったけど、学校の体育の授業は苦手だった経験が、研究を志したきっかけです。学校に限らず、スポーツ現場、社会や家庭での体育的な事象、そしてこれらに携わる人たち、すべてを対象にさまざまな方法を駆使して調査や研究をしています。からだを動かすことが得意でない人こそ歓迎します。



●卒業論文テーマ：

「日本の高校運動部活動における非選手教育に関する一考察:『マネージャー』に着目して」「運動部活動における非レギュラー選手の競技意欲に関する研究:集団目標への関与に着目して」「児童の規範的行動を誘起する運動実践に関する研究:異学年集団を対象として」

身体運動支援システム論 担当教員：阿部 匠樹

身体を動かすその不思議に迫り、
支える仕組みを考える

ヒトの知覚-運動システムの仕組みには驚かされるばかりで、飽きることがありません。イグノーベル賞のように「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる」研究が目標です。



身体や運動、知覚、意思決定などに関して、日常生活やスポーツなど様々な場面で疑問に思うことを実験的に検証してみたいと思います。

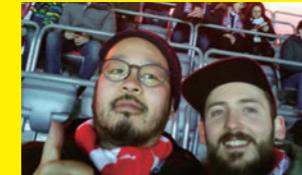
●卒業論文テーマ：

「視線とパーソナリティの関係:どんな人が、会話中に相手の目を見るの?」「運動経験が空間認識能力に及ぼす影響～身体・図形のメンタルローデーション課題を通して～」

福祉スポーツ論 担当教員：山崎 貴史

スポーツと障害のある身体を考える

障害者スポーツを研究しています。スポーツを研究するというと、スポーツを通して「できるようになること」を中心と考えます。しかし、このゼミでは障害のある「できない」身体の大変さや創造性から、スポーツや私たちの身体のあり様をもっと自由に考えてみたいと思います。



●卒業論文テーマ：

「スポーツについて考えたい方はもちろんですが、スポーツに興味がないけれども、身体や社会学に興味があるという方も大歓迎です。」

運動生理学 担当教員：柚木 孝敬

身体運動の理解から
体育やスポーツについて考える

本研究室では、身体運動の仕組みを主として生理学的方法を用いて研究しています。身体運動の発現や持続を支えるメカニズム、運動パフォーマンス、疲労などが研究の対象です。このような研究を通して、体育やトレーニング、スポーツのあり方について考えてみませんか。運動やスポーツに興味のある方は、運動生理学実験室を訪ねてください。



●卒業論文テーマ：

「筋運動感覚残効が力調節に及ぼす影響」「ウォーシングアップが高強度走行運動時の呼吸困難感と脚疲労感に及ぼす影響」「暑熱環境下の温度知覚が自転車運動中の主観的運動強度およびペース配分に及ぼす影響」

生活健康学 担当教員：山仲 勇二郎

生物時計の仕組みを解明し、心身の健康を支える生活リズムをデザインする

当研究室では、私たちのからだに備わった生物時計の仕組みを追究する「時間生物学」を学びます。生物時計は、ヒトの睡眠覚醒・生理機能に約24時間リズムを発振し、昼間に十分活動し、夜間に質のよい睡眠を得られるように体内環境を制御しています。時間生物学、睡眠科学、生理学を基盤に健康について幅広い視点で考えられる人材の育成を目指しています。



●卒業論文テーマ：

「恒常暗下における周期的な新奇環境暴露はマウス視交叉上核における時計遺伝子Period1発現リズムを同調させる」「夜間の短時間運動が睡眠中の生理機能と起床後のHPA系活動に与える影響」「末梢皮膚温の概日リズムと眠気の日内変動の関係性」



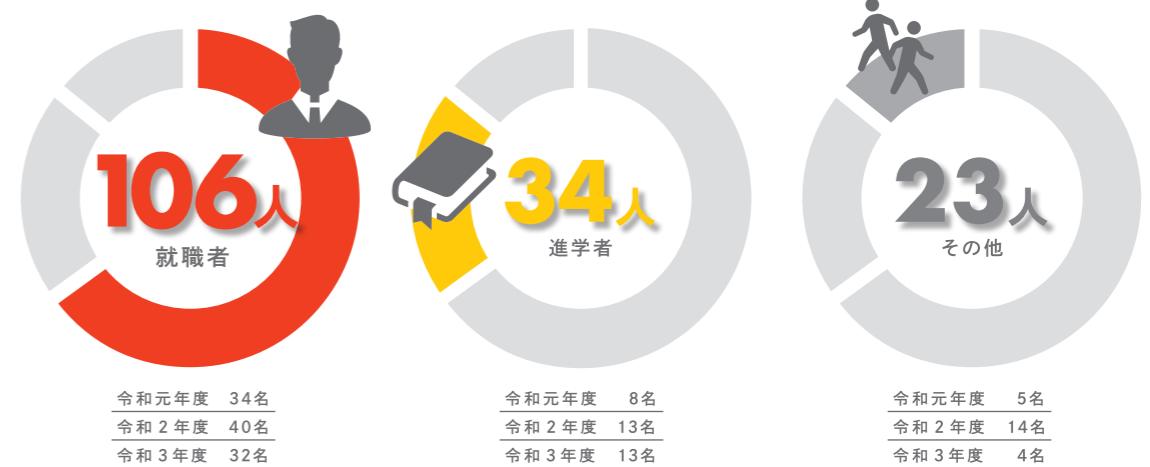
After graduation



卒業生の進路

卒業生の進路状況（2019～2021年度）卒業生163人中

内訳：令和元年度／47名 令和2年度／67名 令和3年度／49名

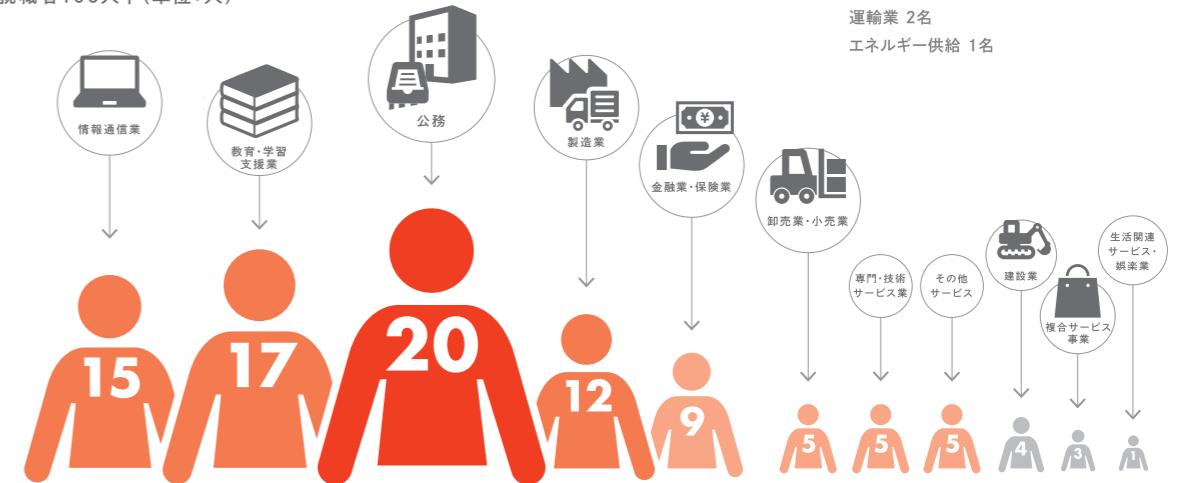


就職

employment

産業別就職者数（2019～2021年度）

就職者106人中（単位：人）



近年の卒業生の主な就職先（2019～2021年度）

【教員】北海道真駒内養護学校、沼津市立太平中学校、北海道新篠津高等養護学校、大宮開成中学・高等学校、中学校、佐藤栄学園（栄東中学・高等学校）、特別支援学校、北海道公立学校教員、学校法人三幸学園【教育・学習支援】株式会社日本入試センター、学校法人高宮学園（代々木ゼミナール）、株式会社秀英予備校、学習塾、株式会社進学会ホールディングス、株式会社ウィルウェイ、【医療・福祉】社会福祉法人北摂杉の子会、日本年金機構、県職員【複合サービス事業】株式会社電通PRコンサルティング、株式会社パソナグループ【その他サービス】株式会社CBホールディングス、リージョンズ株式会社、株式会社パソナ、株式会社パフ、楽天グループ株式会社【公務】札幌家庭裁判所、厚生労働省、札幌家庭裁判所調査官補、北海道地方更生保護委員会、陸上自衛官、北海道開発局、札幌少年鑑別所、北海道厚生局、東京都特別区心理職、北海道庁、石川県庁、北海道教育委員会、札幌市役所、山梨県公務員、愛媛県庁、富山県庁【建設業】鹿島建設株式会社、三機工業株式会社、森の木建築工房株式会社【製造業】森永製菓株式会社、三菱重工業株式会社、サミー株式会社、凸版印刷株式会社、旭化成株式会社、武田薬品工業株式会社、アルインコ株式会社

【製造業】新光電気工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、トヨタ自動車北海道株式会社、大東化学株式会社【エネルギー供給】
北陸電力株式会社【情報通信業】株式会社セプテニ・ホールディングス、株式会社北海道新聞社、アジアエクスト株式会社、
NECソリューションイノベータ株式会社、株式会社日立製作所、富士ソフト株式会社、株式会社クレスコ、株式会社NTTドコモ、
総務省北陸総合通信局、株式会社NTTデータMSE、株式会社ホワイトプラス、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社、
富士通株式会社、日本放送協会【運輸業】北海道エアポート株式会社、小田急電鉄株式会社【卸売業・小売業】株式会社赤ちゃん
本舗、株式会社ニトリ、株式会社フクヤ、アスクル株式会社、株式会社京王百貨店【金融業・保険業】株式会社商工組合中央金庫、
日本政策金融公庫、北海道銀行、日高信用金庫、日本生命保険相互会社、三井住友海上火災保険株式会社、明治安田生命保険相互
会社、東京海上日動火災保険株式会社【不動産業】北海道セキスイハイム株式会社、株式会社力チタス、株式会社リオ・ホール
ディングス【専門・技術サービス業】家庭裁判所調査官補、株式会社オカモトホールディングス、アクセンチュア株式会社、株式会社
日本SPセンター、株式会社SHIFT【宿泊業】北こぶし知床ホテル&リゾート【生活関連サービス・娯楽業】北海道放送株式会社

さまざまな場所で社会に貢献する卒業生

学校の教員をはじめ、様々な分野に就職する人、進学する人。

教育学部卒業生の進路は多様です。

教員

子どもたちと「学び」 共に成長する日々

齋藤 めぐみさん 学習授業論ゼミ(2021年度卒業)

勤務先：弟子屈町立弟子屈中学校 教諭

【仕事】

3学年(計5クラス)の国語の授業を担当しています。校務分掌業務は、総合学習や行事などの学年の業務、
通知票発行やテスト印刷など。また、放課後や土日は吹奏楽部の指導を行っています。

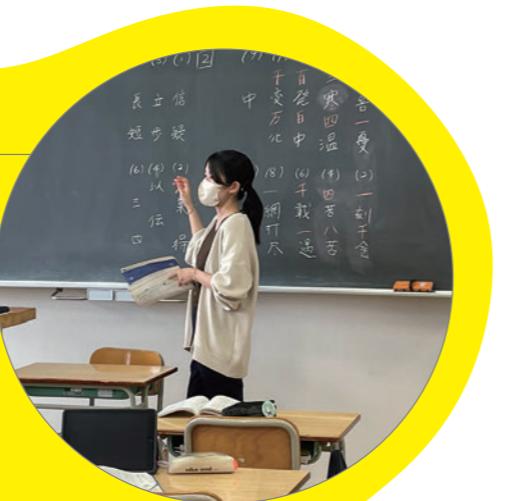
教員を志望しており、教員になるための知識だけでなく、心理学や社会学、行政などさまざまな視点から教育について考えたいと思い、北大教育学部に進学しました。卒論では、「文章(特に文学作品)を読む」ときに、初めて読む経験(初読)を大切にする実践方法である「一読総合法」の要点、実際の授業でどのように取り入れるべきかなどについて研究しました。

教育学部の4年間で、生徒を見る視点や授業のあり方、社会と学校の関わりなど、幅広い分野で色々なことを考え、学びました。今でも授業の準備をするときには、常に卒論の内容を念頭に置いています。

日々、予想できないことが起きたのが教員の仕事の面白いところ。「この子達ならこのようなことを考えるだろう」と思っていても、その予想を上回る言葉が返ってくることが何度もあります。目の前の子ども達は日々変化しているので、教員の仕事に完成やゴールはありません。自分も子ども達と一緒に成長していくよう、よりよい授業を目指し、研究し続けようと思っています。

「教育」は、「教えてあげる」という一方的なものではありません。相手に「教える」前に、自分が相手を「知る」必要があります。つまり、「教育」は「学ぶ」ことだと私は考えています。そしてそれは、教師だけが行うことではありません。人と人が関わり合うときは、必ずそこに「学び」があります。

どんな職業を目指しても、何も目指していないくとも、教育学部で「学ぶ」ことは必ず人生を豊かにします。
北大教育学部で「学び」について学んでみませんか?



企業

誰かの人生に 搖さぶりをかけるような 広い視野で番組作りを

大木 隆史さん 職業能力形成論ゼミ(2021年度卒業)

勤務先：日本放送協会(NHK)福岡放送局
コンテンツセンター 制作 ディレクター

【仕事】

テレビ番組を制作しています。上司に番組や企画の「提案」を提出し、採択されたら取材・ロケを行って、編集をして、番組を作ります。ディレクターとして、全ての過程の中に立ち制作を進行しています。

高校時代は社会学にも教育学にも興味がありました。教育学部ではどちらの興味も叶えられそうだと思い進学を希望しました。そのような中、浪人を経験し、焦りも伴い「いい大学に入らないと不幸になる」と思い込んでしまいました。しかし、大学に入学して大学生活やアルバイト、ボランティアなどで人の人の出会いを通じ、自身が抱いていた「不幸観」は、狭い視野によるものに過ぎないと気がついたのです。

自分が人とのふれあいの中で気づきを得たように、テレビ番組を通して、他人の人生をのぞき見し、触れることができます。「自分も誰かの人生に揺さぶりや衝動を与え、前向きになってもらえるような番組を作りたい」と思い、テレビ局を志しました。また、落語研究会に所属し、夢中でネタを作り披露し笑ってもらったことも、この仕事に興味を持った動機です。

主に教育社会科学分野のゼミや講義の中で身につけた、自分の目に見える範囲よりもっと幅広い視野で、他者の立場に立って物事を考えようとする姿勢は、今の仕事に活きています。仕事の一番面白いところは、自身の持つ興味関心や社会に対する問題意識・そして自分の「好き」を追求できること。大変なことが多いですが、放送後の達成感はひとしおです。

数年間の大学生活を通して何を得られるのか、それは周りの誰でもなく、自分次第です。ぜひ、「自分は卒業するまでに何を成し遂げたいのか」を一度立ち止まって考えてみてください。私は、北大教育学部で4年間を過ごせてとても良かったと思っています!



多岐にわたる就職先

卒業生の就職先は多様で、
教師を始めとする教育に関わる専門的な職業だけでなく、
公務員や一般企業を選ぶ人もいます。最近では、
一般企業を選ぶ人が主流になっていて、
人材育成を始めとした人事・総務の部門に配属されることが多くなっています。

地域

困難な境遇の子どもたちと共に成長する日々

満保 裕太さん 運動生理学ゼミ(2017年度卒業)

勤務先：社会福祉法人黒松内つくし園 児童養護施設黒松内つくし園

【仕事】

登校・掃除・学習・遊びなどの生活支援、家庭や学校・児童相談所・病院などの関係機関との連絡調整を通じて子どもの自立をサポートしています。

自分がやりたいことを見つけていたいと思い、北大教育学部へ進学しました。北大教育学部は、規模の小さい学部なので、学年の垣根を超えて非常に仲が良く、先生方も親身に関わってくださいました。一緒に駅伝大会に参加したのは良い思い出です。

自分は多くのことで恵まれてきたと感じていたのと同時に、それとは逆の境遇で生活せざるを得ない人達がいるとも思っていたので、そういう人達を助ける仕事に就きたいと漠然とした考えを持っていました。3年次に家庭福祉分野の授業を受けた際、児童養護施設について知りました。

4年次になり参加した法人の説明会で、職場体験を勧められました。施設で知り合った子ども達からもらった「また会える?」の言葉が忘れられなく、就職を決めました。黒松内は人口3,000人にも満たない小さい町ですが、法人創設者の多大な貢献から福祉の考えが町全体に浸透しており、町自体にも大変魅力があります。

この仕事の魅力は、子どもの成長を感じられること。苦労することも多い分、子どもと分かち合う喜びもひとしおです。教育学部で、物事に多角的な視野を持つことを学びました。その学びが、例えば、子どもの問題行動があったとしても個人要因だけではなく、環境要因にも注目してより良い支援を考えることに繋がっています。

施設を退所した子が自信を持って社会に出ていけるようにすることが、仕事の目標です。ぜひ、北大教育学部に来て、自分が本当にやりたいことを見つけてください!



専門職

大学で学んだ心理学で紛争や事件の解決に

井上 華さん 教育臨床心理学ゼミ(2021年度卒業)

勤務先：札幌家庭裁判所

【仕事】

家庭紛争や非行問題の当事者や関係者と面接を行って、心理的な分析をしながら、紛争や事件の原因となった動機、人間関係、生い立ち、家庭環境などを調査し、問題解決のために必要な検討を行い、裁判官に伝える仕事です。必要に応じて、当事者に教育的な助言・援助を行なうこともあります。

大学入学時は、将来像が漠然としていたので総合入試文系で入学し、その後、アルバイトを通してさまざまな子どもたちと関わった経験から、子どもの福祉のために心理学を活かせる仕事に就きたいと考えるようになりました。大学2年時に家裁調査官という仕事を知り、父母の紛争下にある、不適応状態にある等の理由で困っている子どもや、その家族に関わることができる仕事だと感じ、本格的に目指し始めました。

北大教育学部では、心理専門職の資格を取るために勉強ができるだけではなく、福祉学や社会学など、いろいろな観点から、社会の実情を学べるところが魅力的です。時には難しいケースに出会うこともありますが、問題の実情をより正確に理解するために、心理学だけではなく、貧困やジェンダーなど多方面から社会や人間について考えたことが役立っていると感じます。

この仕事では、幼児から高齢者まで幅広い年代の、さまざまな環境にある方と出会います。仕事を通じて学ぶことは多く、家裁調査官の仕事が自分自身の成長につながっていると感じます。また、当事者に働き掛けた結果、少しでも事態がより良い方向に向かうことがやりがいです。

北海道大学で4年間過ごせたことは、人生の財産だと、卒業した今でも強く思います。迷っている方がいれば、ぜひ北大教育学部に進んでみてください。きっと素敵な経験ができると思います。



進学

graduate school

さらに深く教育学を学び研究する

北海道大学大学院教育学研究院・教育学院

大学院では、社会の変動に伴うニーズに機敏に反応するために、研究組織としての教育学研究院と、教育組織としての教育学院からなる体制で、研究と教育を進めています。

大学院進学状況 (2019~2021年度)



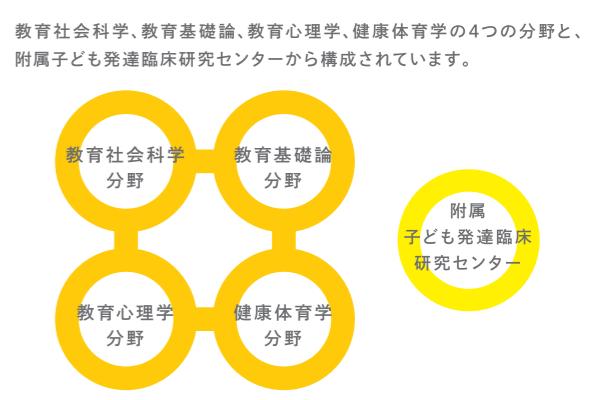
他大学院

5人

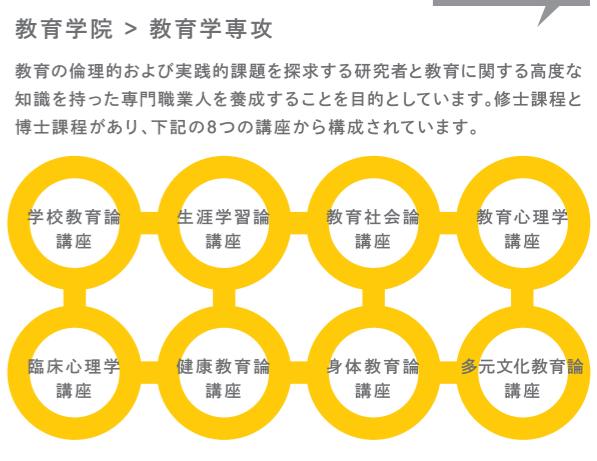


大学院の組織構成

研究組織



教育組織



大学院教育学院で指導にあたる 教育学研究院以外に所属する教員の紹介

教育学院で探求する内容は多岐にわたるため、教育学研究院だけではなく、北大内の他の研究院、機構に所属する教員とともに各講座が運営されています。

生涯学習論 飯田 直弘

高等教育の比較研究が専門で、特にイギリスと日本を中心とする入試制度（資格制度）の国際・国内比較に関心があります。現在は、国内外の多様な学習成果・学習歴の承認・評価枠組みに基づく大学入学者選抜方法の開発に関する研究などに取り組んでいます。

教育社会論 龜野 淳

学校（特に大学）での勉強と社会に出てからの仕事との関連について研究しています。大学院を担当していますが、全ての学部1、2年生を対象としたキャリア教育なども担当しています。

学校教育論 江本 理恵

私は教育の現場で発生した問題に対する問題解決を研究しています。最近は、大学をフィールドとして、FD、IR、教育の内部質保証システムなどを研究対象としていますが、初等中等教育の現場も取り扱うことがあります。

多元文化教育論 青木 麻衣子

オーストラリアの教育政策・制度を研究しています。多文化主義を国是とする同国が、国内の多様性と国家としての統一性にいかに折り合いをつけているのかに興味があります。

多元文化教育論 ジェフリー・ゲーマン

質的調査を通じたアイヌ民族の教育や文化伝承を中心に研究をしていますが、マイノリティ研究、多文化共生、異文化間理解教育、言語復興といった北海道、日本、世界的な課題も視野にいっています。

多元文化教育論 土田 映子

アメリカ合衆国における集団的・地域的アイデンティティの形成過程を研究しています。多文化社会における教育のあり方や役割、国民や民族集団のアイデンティティやイメージの形成に関心をもっています。

多元文化教育論 ブンティロフ・ゲオルギー

国民アイデンティティ論における「我が国」と「他国」を議論する言説の分析を国民と地域アイデンティティに基づいて研究しています。特に日本とロシアの境における報道とそれぞれの国家レベルの報道の比較分析に興味を持っています。日本の地域におけるロシア語教育（特に発音指導）についても研究しています。

多元文化教育論 堀 晋也

「これからの時代に即した外国語教育」について考えながら研究・教育活動に取り組んでいます。現在は学習者の動機づけ（モチベーション）、ICTを活用した自律学習、ヨーロッパの言語教育政策などに興味を持っています。

北大教育学部から大学院教育学院へ進学

興味ある運動観察を 研究テーマに選んで

佐々木悠介さん 身体運動支援システム論（2021年度卒業）

北海道大学大学院教育学院（修士課程1年）

どんな勉強をしたいか明確になっていなかったため、2年進級時に学部を決める総合入試に惹かれ北大を受験しました。大学でさまざまな勉強をしていく中で、中学生から続いている陸上競技に活かせる運動系の研究や、教員免許の取得ができる教育学部に移行しました。

北大教育学部では複数のゼミを受講し、3年後期に卒論研究をするゼミを決めます。私は2年後期に4つ、3年前期に3つのゼミを受講しました。スポーツに取り組んだことがある人であれば、一度は自分のパフォーマンスを向上させるために、他者や自身の動きを観察したことがあるのではないでしょうか。この観察を「運動観察」と言います。卒論では、どのような動画を見ればより効果的にパフォーマンスを向上させられるかを調べました。

やりたい研究テーマを絞りこんだ時には、大学生活は残り1年。せっかく研究テーマを選んだのに1年で終わりにしてしまうのは惜しいと思い、修士課程に進学しました。大学院でも運動観察の研究を継続しています。仮説通り、運動観察によって被験者のパフォーマンスが向上するのを見るのが研究で一番面白いところ。効果的な運動観察を発見し、自身や部活のメンバー、そしてスポーツをする多くの人たちのパフォーマンスを向上させることが目標です。修了後は民間企業に就職し、研究を通して身に付けた課題を分析し解決する力、プレゼン力などを発揮したいと考えています。

北大教育学部は幅広い分野の研究ができるので、誰でも興味のあることが見つけられると思います。ぜひ興味をもっていただけたら嬉しいです！



▲実験中の様子
▼実験で使用したボール

北大教育学部→大学院教育学院→研究者に

「常識」を疑って得られる新たな気づき

田中 元太さん 教育社会学ゼミ（2019年度卒業）

北海道大学大学院教育学院修士課程（2021年度修了）

勤務先：追手門学院大手前中・高等学校 社会科教諭

【仕事】

いまは大阪の私立学校で勤務しており、昨年度より中学生の担任をしています。

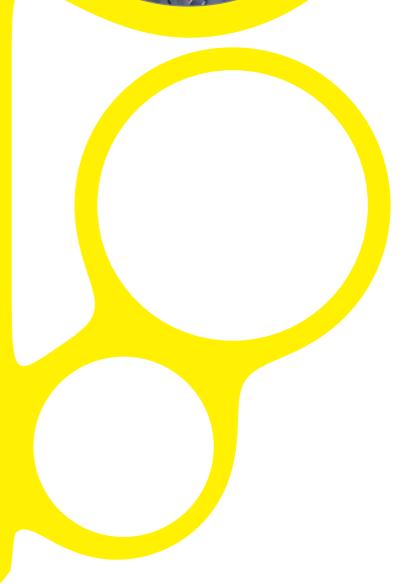
多様な背景をもつ生徒が在籍していた中学校に通っていた自身の経験から、「そもそも学校とは何か？」という疑問や教育問題に関心を持っていました。学部案内を読んだり、教授の研究内容を調べたりしていくうちに、「教育とマイノリティ」を専門に学べ、また幅広く教育について学べると思い、北大教育学部への進学を決めました。

卒論では、特色ある人権教育を戦後続けてきた大阪のある学校で、教員にインタビュー・生徒にアンケートを行い、分析し、その背景にある実践の歴史や構造を検討しました。修士課程修了後、大阪の教員になったのは一度現場で働いてみたいと考えたから。修士から継続して大阪の人権教育に関心を持ち続けています。

学校に通っている生徒は、さまざまな背景を持っています。修士課程までの学びでは、社会調査や分析において、なるべく客観的に物事を見る訓練をしてきました。今、教育の現場で起きるさまざまな事象や問題について、決めつけをせずにいろいろな見方が出来るのは、これまでの学びがあるからだと思います。

みんなが当たり前だと思っていることが、社会にも学校にもたくさんあります。それは社会をよくしている一方で、それに悩み苦しんでいる人もいます。研究の面白いところは、そんな常識を疑って新たな気づきができるところだと思います。

目標は、これまでの問題意識を継続し、教員として現場で働きながら得た経験を活かして、大学院に戻って研究を続けること。とても難しいことだと思いますが、研究を通じて自分の関心のあることを調べることが、ゆくゆくは誰かにとって救いとなる気づきになればと思います。



資格について

Q & A

4

北大教育学部では、毎年どのくらいの学生が教員免許状を取得しますか？また、実際に教員に採用されるのは何人くらいいますか？

年度によって差がありますが、高校、中学、特別支援を合わせて免許状取得者は20名程度です。そのうち、大学卒業と同時に公立学校の教員として教職に就いているのは5名程度です。また、卒業後に、大学院修士課程に進学し、専修免許状を取得してから教員採用試験に臨む人や、非常勤の講師として学校現場で働きながら採用試験を受け、正規の教員となる人もいます。教員採用試験の動向が変化しており、より高学歴化・即戦力化が求められるようになっています。

1

北大教育学部で取得できる教員免許状の種類を教えてください。

取得できる免許状は以下の通りです。

- 1) 高等学校教諭1種免許状(地理歴史、公民、保健体育)
- 2) 中学校教諭1種免許状(社会、保健体育)
- 3) 特別支援学校教諭1種免許状

5

公認心理師の資格を取れると聞いたのですが。

教育学部では「公認心理師受験資格」を取ることができます。学部では2018年度から公認心理師受験資格に対応したカリキュラムを編成しています(心理実習など一部の授業で履修定員があります)。教育学部で所定の単位を修得した後は、大学院で公認心理師の所定のカリキュラムを修めるか、卒業後、一定期間、心理師としての実務経験を積むことで、国家試験の受験資格が得られます。

2

北大教育学部と教育大学(教員養成系大学・学部)とは、どこが違うのですか？

北大教育学部では上記の教員免許を取得することができますが、その教育内容は、教員養成を主目的としている教員養成系大学・学部とは違います。北大教育学部を卒業すれば教員免許が取得できるという教育内容ではありません。学部の専門教育以外に、教職に関する科目などを履修しなければなりません。

北大教育学部では、「教育」に関わる様々な領域で活躍できる人材を育てるため、「教育」について広く深く探究しています。こうした研究成果を学ぶことを通じて、教員として活躍している卒業生も少なくありません。

3

教員免許状を取るのは大変でしょうか？

4年間での学習において、中学校教諭1種免許状や高等学校教諭1種免許状を取得する場合、以下の1~5を合わせて59単位、特別支援学校教諭1種免許状の場合、それに加えてさらに26単位を取得する必要があります。それらの一部(約30単位)は、卒業単位に含まれませんから、決して楽ではありません。たとえば高等学校教諭1種免許状を取得する場合、学部の卒業単位以外に、以下の単位修得が義務付けられています。

1. 教科及び教科の指導法	24単位
2. 教育の基礎的理義に関する科目	10単位
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位
4. 教育実践に関する科目	5単位
5. 大学が独自に設定する科目	12単位
6. その他の必修科目	8単位

教職科目の開講時間は主に1講時と5講時になっており、学部の専門もしっかり学ばなければなりません。

6

北大教育学部で学ぶ心理学の特徴は何ですか？

北大教育学部では、教育的事象を広く研究対象にして、教育を科学することを目指しています。心理学では主に教育心理学、臨床心理学といった領域で研究を行っていますが、研究対象は乳幼児から青年・成人まで、研究方法も実験や調査などの基礎的なものから観察や聞き取りなど臨床的な面を重視するものまで様々です。心理学という学問にはいろいろな領域がありますが、教育という事象を心理的な面からいかに捉えるか、という視点から様々なアプローチをしています。

7

幼稚教育関連の資格は取れますか？

幼稚園教員免許状の取得はできません。保育士資格についても、資格取得カリキュラムはありません。しかし、例年、国家試験による保育士資格試験を受験し、卒業までに保育士資格を取得し、保育士等として就職する学生もいます。

8

社会教育主事・社会教育士について教えてください。

社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門職員で、住民の自主的な学びや社会教育施設における学習実践をサポートし、人が育つ地域社会をつくるためのコーディネーターの役割を担っています。社会教育主事課程に定められた講義を履修することによって任用資格が得られます。この資格があれば自治体に就職した後に、必要に応じて社会教育主事として発令されます。また、社会教育に関する科目的必要な単位を全て修得すると、社会教育士(養成課程)と称することができます。

9

このほかに北大教育学部で取得できる資格にはどんなものがありますか？

社会福祉主事、児童福祉士、学芸員の資格を取得することができます。

入試案内・オープンキャンパス

入試案内

入試形態	日 程	募集人数
一般選抜	前期日程 2月 25日	20人
	後期日程 3月 12日	10人
	総合入試文系 前期日程 2月 25日	95人 (うち教育学部への移行定員20人)
国際総合入試	総合入試文系 11月下旬 募集要項は5月下旬に公表予定	5人
私費外国人留学生入試	11月下旬 募集要項は5月下旬に公表予定	若干名
帰国生徒選抜	11月下旬 募集要項は5月下旬に公表予定	若干名

<https://www.hokudai.ac.jp/admission/>

北海道大学学務部入試課：〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 TEL: 011-706-7484

入試形態	日 程	募集人数
3年次編入学・転部試験	11月下旬 ※募集要項は8月に公表予定	10人

<https://www.edu.hokudai.ac.jp/> (前年度の募集要項および筆記試験問題を北大教育学部のウェブサイトで公開しています。)

北海道大学教育学事務部教務担当：〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目 TEL: 011-706-3494

オープンキャンパス

日時：8月上旬の日曜・月曜

進学を希望する学生や、その保護者を対象に教育学部教員によるカリキュラムや学生生活などについての説明会が開かれます。数名の教員と個別に相談する機会も設けられますので、是非ご参加ください。なお、北海道大学札幌キャンパス全体のオープンキャンパスも同じ日程で開催されます。

オープンキャンパスについての参加方法と詳細は[こちら](#)

<https://www.hokudai.ac.jp/admission/>

北海道大学学務部入試課：〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 TEL: 011-706-7484

オープンキャンパスで
待っています！



北海道大学 教育学部

発行：2023年3月 編集：北海道大学大学院教育学研究院・教育学院・教育学部 社会連携委員会

問い合わせ先：北海道大学教育学事務部教務担当 〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目 TEL: 011-706-3494

*本冊子に掲載されている情報は2023年3月現在のものです。

*変更する可能性がありますので、ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

Hokkaido University

Campus Map

関連施設案内図

北海道大学 教育学部

住所：〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

最寄り駅のご案内：JR 札幌駅下車 徒歩15分
地下鉄 南北線 さっぽろ駅下車 徒歩15分
南北線 北12条駅下車 徒歩 7分



「人が育つ社会」のグランドデザインを描く

教育学研究院 附属子ども発達臨床研究センター

附属子ども発達臨床研究センターは、発達に関する基礎研究と臨床・実践研究を結び付け、「人が育つ社会」のグランドデザインを描くことを目的としています。発達と教育に関わる多様な領域の研究者・実践者の交流を促進し、様々な支援方法の開発研究にも取り組んでいます。本センターの前身は、乳幼児発達臨床センター（1978年設置）であり、乳幼児発達に関する基礎的研究と教育実践を展開してきました。2006年に現在の名称に変更し、2014年度からは子ども発達支援研究部門・子ども臨床研究部門・教職高度化研究部門の三部門体制で研究を推進しています。

